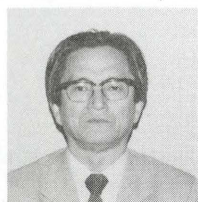




西南学院大学・

図書館報

卒業生に贈る 社会人と読書 井上康男・小田島真千枝・大辻千恵子・平山崇…2・3
ロンドンの大英図書館と公立記録保管所
古屋靖二……………4
図書館増改築 本工事スタートは目前！…5
シリア・アラブ共和国 教育事情の一断面
船戸理恵……………6
レファレンス・ブックの紹介(2)……………7
新着図書紹介……………8



博多湾から

図書館長 長 洋 一

人生は航海にたとえられ、卒業はその船出ともいわれる。だとすれば、西南のキャンパスのかたわらの博多湾は、その出発の港ということになるだろうか。

一昨年、この「湾岸」で“よかとピア”が開催された。いま、その華々しさや喧騒さは消え、残された博物館や西部ガス資料館・福岡タワーの周辺が公園化され、市民の憩いの場所となっている。

先日、私は福岡タワーに上ってみた。博多湾が一望の中に入り、大小の船が行き交い、港は賑わっていた。南の方は、山々に囲まれた福岡平野の街が、春の陽光に輝いていた。

私はこれらの景観を見ながら楽しんでいたのであるが、ふと『日本書紀』の天智十年(671)十一月の条を思い出した。そこには、唐の使である郭務棕ら600人と、送使となる沙宅孫登らの1400人あわせて2000人が、船47隻に乗って対馬に向かうと知らせてきたと述べている。これらの人と船は同年十二月か翌年一月初めには、この博多湾にきたようだ。福岡タワーの上から見おろす博多湾に、このような47隻の船団が集っている光景を私は想像したが、この船団についてはいろいろな解釈がある。

663年の白村江の戦いで日本は唐に大敗したにもかかわらず、8年後に唐が再び日本を威圧するデモンストレーションとしてこの船団を送ったとする説、また、船団の大部分は660年に滅亡した百済の人々が日本に亡命しようとした船であったとする説、また、663年の白村江の日本の敗北の際に唐の捕虜となった日本人を、この

時に唐が日本に送還して来たという説も新しく出された。『日本書紀』によると、この時の郭務棕は、後の博多である那太津で、天智天皇の死を知り、その追悼のため阿弥陀仏を彫っている。またまもなく彼が帰国するときには、甲冑弓矢の外に大量の絹・麻布・綿が与えられている。これらを併せ考えると、郭務棕は友好的な使として、日本人の捕虜を送って来たという説が妥当となる。ところで郭務棕の帰国は672年5月だが、その頃彼が連れてきた捕虜はすべて出身地に帰ったのだろうか。当時このような博多湾のことに対処したのは筑紫大宰府だが、6月には壬申の乱が起り、近江朝の大友皇子の使が筑紫大宰府に来て、そこの兵を近江方に動員しようとした。その時、筑紫大宰府の責任者であった栗隈王は、筑紫は外敵の侵入を防ぐ所であり、そのために兵がいる。その兵を内乱のために動かし、そのすきに外敵が来ると国が滅ぶかもしれないので、兵は動かさないと行って使者を追い返した。おそらく栗隈王の脳裏には彼が対処した「湾岸」の47隻の船団と2000人の人々のことがあり、この発言になったのではなかろうか。

壬申の乱とは一見無関係にみえる博多湾である。しかし、天智十年(671)から天武元年(672)にかけての郭務棕一行の湾岸での動きは乱の展開に影響があったのだと、福岡タワーでの私の推理の輪はひろがる。

西南学院大学の卒業生にとって、旅立ちの港ともいえる博多湾だが、『日本書紀』から浮び上がるその歴史には興味ぶかいものがある。」

(ちょう・よういち：文学部教授)

卒 業 生 に 贈 る**社 会 人 と 読 書****大学卒業後の読書**

商学部教授 井 上 康 男

大学時代、ある教授が、講義の中で次のようなことを言われた。「汽車に乗ると、前の座席にサラリーマン風の立派な紳士が居て本を読んでいた。その本をよく見ると、漫画の本であったので、がっかりした。彼は、ひまつぶして読んでいたかもしれないが、大学卒業後も勉強をやめなくて、自己の職業の専門の本をよく読んで、自己の専門分野の勉強だけは続けてほしい」と。この教授の言葉に刺戟を受けて、それからというものは、機会を見ては図書館で閉館の夜の9時まで本を借りて読んで、夜空を仰ぎながら下宿に帰ったことを思い出す。大学卒業後、職業についてからは、その職業に必要な本だけを読むようになった。現在も、教員という職業上自己の専門の本だけを読んでいるが、しかし、専門の領域をわずかに広げて、自己の専門に近い他の領域の本を読むと、他の領域という新しい観点から自己の専門分野を眺めることができ、自己の専門分野の本質を他の学問領域との関連において、全体的に一層深く眺めることができるようになった。そこで、少し視野を広げるということも、自己の専門分野の本質をよく理解するために必要であることが分った。卒業生の諸君も、卒業後プロとして生き残るためには、自己の専門分野の勉強をすることが必須の条件である。そのためには、卒業後も、自己の職業の専門分野に関する読書と勉強に大いに頑張ってほしいと思います。

読書の習慣を

法学部助教授 小田島 真千枝

書店に立ち寄ること、私が読書から離れないために心がけていることです。学生時代と違って社会人になりますと、自由な時間がどうしても少なくなります。読書をしたり、また読むべき本を探すのも思うにまかせません。

そこで私は街に出た折には、つとめて書店をのぞくようにしていますし、待ち合わせをするときは、書店でということにします。いろいろな種類の本が集まっているので、かたよることなく目を通せますし、実物を手にとって見ると、本当に読みたいものかどうかやりやすいような気がします。気に入ったものがあれば、つい買ってしまうので、読む予定のいろいろな本がたまっています。もっとも推理小説ですと、時間を忘れて読んでしまいますので、最近では推理小説は買わないようにしています。特にアガサ・クリスティは、誰かの文章にもありましたが、翻訳されたものは全部読んでしまったほど好きなのですが。

推理小説に限らず、考えてみますと私は同じ著者のものを続けて読むことが多いようです。子供のころは手当たり次第に読んでいましたが、だんだん落ち着いて来たのでしょう。

時間に限りがあるので、読むものを選ばなければならないという考えもありますが、私は好きなものを読むことで、読書の習慣をつけることがたいせつだと思います。楽しく読書をするのが、趣味としての読書であり、それが習慣として身につけば、仕事に関係する読書にも影響を与えて行くのではないかと思います。

卒業生に贈る

社会人と読書

読書を通して
思考する人生を

文学部助教授 大 辻 千恵子

ご卒業おめでとうございます。四年間の思い出と、これから社会人として踏み出す第一歩への期待と不安をかみしめておられることと思います。社会人になれば「単位」のために読む作業から解放され、読書する自由はあなた方次第です。と同時にひとりひとりの判断力が一層問われることにもなります。

最近怪書房から出版された『「ちびくろサンボ」絶版を考える』(1990年)は、その格好の素材を与えています。1988年夏に合衆国の『ワシントンポスト』が東京の百貨店で販売されていた黒人マネキン人形や黒人グッズが明らかに黒人のステレオタイプであるとして抗議して以来、日本政治家による合衆国マイノリティに対する差別発言が前後して海外で非難され、国内では『ちびくろサンボ』の是非にまで議論が及び、結局半年の間に出版社すべてが絶版を決定するに至りました。これ以降公立図書館での『サンボ』回収や黒人グッズ追放を求める市民の動きが新聞で伝えられています。本書は、現在に至るこの一連の動きを様々な角度から論議し、絶版に象徴される日本人の黒人差別への対応を広く日本社会全体の差別のメカニズムから問おうとしています。そしてそれはおわかりのように簡単に答えがでる性質のものではないわけです。

この『サンボ』議論は、まさに情報過多時代に生きる私たちにとって、判断する(できる)主体の側の責任を示唆しています。社会人になれば物理的に読書できる時間は減るかもしれませんが、読書を通して知的冒険のスリルを味わうと共に、思考する人生を選ばれるよう希望します。

知行致

就職課 平 山 崇

文学が与えてくれる感動の中で、心を揺さぶり、自分自身の生き方を問い直させる感動は、我々の生活に大きな影響を及ぼす。

私は西南学院に入職して三年、現在大学就職課で勤務しているが、カウンターで学生の相談にのり、働くことの意味と人間の生き方を考え、二葉亭四迷の「浮雲」や夏目漱石の「それから」を読みかえすたびに、果して現在の社会システムが人間の幸福に結びついているのだろうか？と疑問を抱かざるをえない。この二冊を読むと、社会の矛盾を憂い、それに対する戦いを決意しながら、人間の弱さを思い知らされる。「浮雲」の内海文三と「それから」の長井代助は、世俗的なものや古い習慣・常識を敵にまわして、文中で必死に戦っている。しかし彼らもまたその壁の厚さの前に敗れ去ってしまう。文三は自室で仰向けになり天井の木目を眺め、代助は電車に乗って果てのない旅へと出てしまう。その二人の姿は現在の私の姿とも思えるのだ。

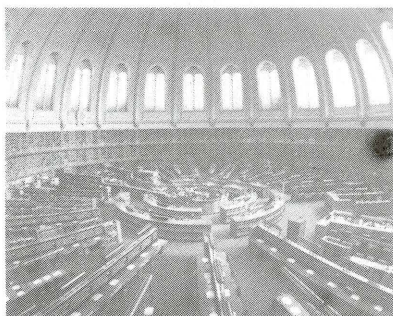
彼らは自分自身に素直であり、人間本来の幸福を求めたために社会から疎外されてしまった。明治時代に書かれたこの二冊が主題としている問題は現代においても十分通用する。利益追求のためなら環境破壊であれ、倫理にもとることであれ実行する企業、そして出世主義と恋愛、人間が作ったルールが人間をしばり、人間を苦しめる。

「学んで思わざれば即ち罔し。思うて学ばざれば即ち殆し」と論語は言っている。そして史記は言う「断じて敢行すれば鬼神も之を避く」と。卒業生諸君も絶望に勝る希望を胸に、心を揺さぶられる書を持って社会で戦ってください。

人類の文明遺産の宝庫として年間400万の人々が訪れるといわれる大英博物館は、最近日本のTVでも紹介され、知る人も多いが、ここに紹介する大英図書館 (The British Library) は、博物館と同じ建物・敷地内に配置されている。世界で最も偉大な図書館の一つで、蔵書数は1,000万冊を超え、多数の写本、原稿、地図、楽譜、雑誌、新聞、切手などを所有・展示し、秘藏品も多い。698年手書きされ、装飾された彩色本、リンデイスファーン福音書をはじめ、国王ジョンが1215年に発行した大憲章『マグナ・カルタ』の写本、1623年に発行されたシェイクスピア全集の初版本 (ファースト・フォリオ) など興味が尽きない。

これらの展示物は、博物館正面玄関より入って右側に位置する展示ギャラリーで見られるが、この建物とは別に中庭に閲覧室 (The Reading Room) が建っている。1857年に建てられた、青天井の美しい巨大な閲覧室は、今までに世界中の多くの学者や作家たちが利用してきた。ロンドンで貧しい生活を強いられたカール・マルクスが、少なくともこの閲覧室では、豊富な資料を利用しながら、ゆったりとした椅子、照明、暖房の恩恵に浴しつつ、快適な執筆生活を送り、『資本論』を書いたことは有名な話である。

閲覧室の利用は、博物館正面玄関奥にある閲覧入室許可事務所 (Reader Admission Office)



大英図書館の閲覧室

文学部教授 古屋靖二

公立記録保管所

ロンドンの大英図書館と

《在外研究を終えて》

れば比較的簡単な手続で作成してもらえ。なお見学だけでも可能である。

1973年、図書の増加に伴い、博物館より組織的に完全に独立した大英図書館は、以前から言い伝えられていた通り、場所を移転する。ロンドン市内北部、聖パンクラス駅西側に既に建設中で、総工費4億5千万ポンド (約1,200億円) をかけ、1996年までに完成予定である。今年の中頃から書籍の移動が開始され、1993年初めには一部閲覧室が開室される予定。少なくとも環境の点から言えば、隣接するキングス・クロス駅や聖パンクラス駅の喧噪と隣合わせの図書館利用よりも、博物館内の知的な散策が自由気ままに (しかも無料で) できる現在地での図書館利用のほうが素晴らしいと思うのは、私ばかりではあるまい。

★ ★ ★

ロンドンの地下鉄駅 Chancery Lane の近くに堂々たる建物、公立記録保管所 (Public Record Office) がある。11世紀以降の政府記録、法廷記録などの保管所 (現代の記録は Kew Gardens 近くの保管所) で、イギリス土地台帳 (Domesday Book) をはじめ、国家にとって重

要な記録が保管され、閲覧券 (Reader's Ticket) を作成してもらって閲覧できる。私がここを訪れた目的は文学者の書簡や原稿、とりわけシェイクスピアの遺言状を見て、コピーをとることであった。シェイクスピアにまつわる記録の存在は極めて乏しい中で、彼が死の約1ヵ月前に作成した遺言状は貴重な資料であり、現存する6つの信頼すべき彼の署名の3つがそこに書き残されている。保管所の係員から3ページにわたるなめし革に書かれた遺言状を渡され、そこに記された、やや震えた直筆の署名を見つめながら、約400年前死を控えたときの偉大な劇作家の姿をあれこれと想像してみた。

(ふるや・せいじ：イギリス文学)

図書館 増改築

本工事スタートは目前！

—工期は14ヵ月—

図書館増改築工事は、昨年7月上旬に公示した基本設計に一部の修正を加え、去る1月23日、修正後の新たな基本設計図と色刷りの完成予想図を公示しました。

今後は、この基本設計に沿って実施設計図ができ、それに基づき、3月下旬からの準備工事に続いて、6月に増築本工事が開始されます。増築部分の工期は14ヵ月が見込まれ、平成4年

8月に第1次引越し（既存建物のうち、改築を行う部分をすべて増築部分に仮移転する）、同年9月の前期試験に合わせて、増築部分（新館）の供用を開始する予定です。

既存建物の改築は、諸般の事情から必要最少限の部分・規模で行われ、全面竣工は平成5年春以降になる予定です。

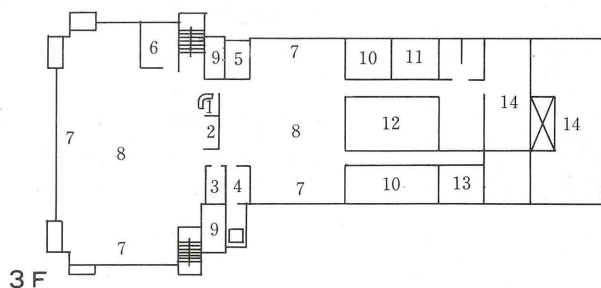
この間、図書館周辺では騒音・振動が生じ、

また構内通路も制限され、皆さんに多大のご迷惑をおかけすることになりますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

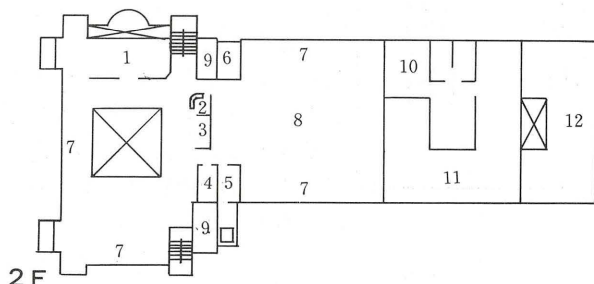
☆☆☆

さて、今号では利用が多いと予想される1階、2階、3階の図面概略を紹介いたします。4階のオープン部分は3階とほぼ同じであり、5階は教授閲覧室ですから、4・5階の図面は省略いたしました。とくに増改築後の特徴は、メインカウンター、事務室等を1階に下ろしたこと、開架閲覧室の学習机を窓側に沿って四方に配したこと、グループ学習室や視聴覚室を設けたことなどです。なお、図書館増築に関するこれまでの経過、その他詳細については、完成後大学広報ならびに館報及びパンフレットにおいてご報告、ご紹介いたします。（2月18日記）

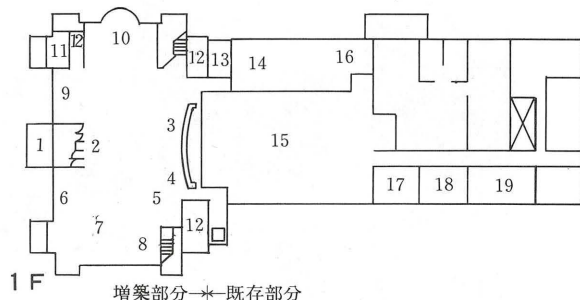
増改築後の図書館見取図（4,5Fは省略）



1. レファレンスカウンター
2. 検索用端末
3. ロッカールーム
4. コピーコーナー
5. 喫煙室
6. ラウンジ
7. 閲覧室
8. 開架書架
9. 便所
10. グループ学習室
11. グループ視聴覚室
12. コンピュータ室
13. 職員閲覧室
14. 閉架書庫



1. 学習室
2. レファレンスカウンター
3. 検索用端末
4. ロッカールーム
5. コピーコーナー
6. 喫煙室
7. 閲覧室
8. 開架書架
9. 便所
10. 国連寄託図書館閲覧室
11. 国連寄託図書館資料室
12. 閉架書庫



1. 正面玄関
2. BDS
3. メインカウンター
4. レファレンスカウンター
5. 検索用端末
6. 新聞コーナー
7. 第1参考図書
8. A.V.コーナー
9. 雑誌
10. ラウンジ
11. 喫煙室
12. 便所
13. 特別閲覧室
14. 第2参考図書
15. 事務室
16. A.V.資料室
17. 次長室
18. 館長室
19. 会議室

増築部分—*—既存部分

私が、青年海外協力隊（JOCV）でシリアへ派遣されたのは、昭和60年の夏。そして2年間、シリア国立アレppo女子体育大学、陸上競技専門教授として指導に当たった。まず、大学入試の方法だが、日本とは大きく異なり1946年独立まで26年間のフランス植民地の名残で、フランスと同じバカロリア制度で試験が行われる。そのため体育大学に来る学生の中にはここにしか入れずに仕方なくという学生も多い。卒業後は体育教師になるというのに、スキップもろくにできないのである。そのため私は1年生の授業でスキップの試験まで行ったのである。信じられないであろうが彼女たちにスキップをさせると右手と右足を同時に出したり、リズム良くステップが踏めないのである。しかし、それに少しの疑問もなく「やめ」と声がかかるまで続ける。幼児期から運動を行っていなかった事がわかる。小・中・高校にはグラウンドがない。あったとしても中庭程の広場である。カリキュラムにしても午前と午後の2交代制。生徒の人口に対して学校が少ないのである。もちろん教科書が全ての生徒・学生に行き渡るはずもない。

しかも全て政府が検閲した本・雑誌でなくては庶民の手に入らない。情報・言動の自由は無い。電話・手紙も全て検閲され、ちょっとした言動で秘密警察に逮捕される者もある。その上、国外へ出ることもままならないのである。ここでは、国民の85%がモスレム（回教徒）なので女性がスポーツをするなど考えられない。例を上げると2年以上シリアに住んでいて、女性が自転車に乗っているところを見たことがなかった。学内では生き生きと話し、はしゃいでいた学生たちも一歩学外へ出ればその美しい髪をベールで包み冷やかな表情に変わってしまう。宗派によって異なり、ベールの要らない宗派もある。それとは引き換えクリスチャンの学生はそんな事は少しも気にせずのびのびとしていた。

大学にはアスカリというクラスがあった。アスカリとは兵士の事である。こんなに運動能力の低い学生たちが自動小銃を撃ったり、手榴弾を投げたり果たして出来るのであろうか？不安である。教・職員の控え室にはよく自動小銃が無造作に置いてあり、私が珍しげに覗き込んでみるとシリア人の教員達が「自由に触ってもいいんだぞ弾も入っているし」と言われた事もあり

驚いてしまった。ある朝、いつものように出勤してみるとアスカリクラスの学生達が武装してバスに乗り込んでいた。私が「何事があるのか？」と尋ねると、「砂漠へ行って実弾訓練があるのだ。隣国から母国を守るようにがんばらなければ」と答えてくれた。学生である。それも女性だ。訓練とはいえ、内心なんとも言えない思いがした。

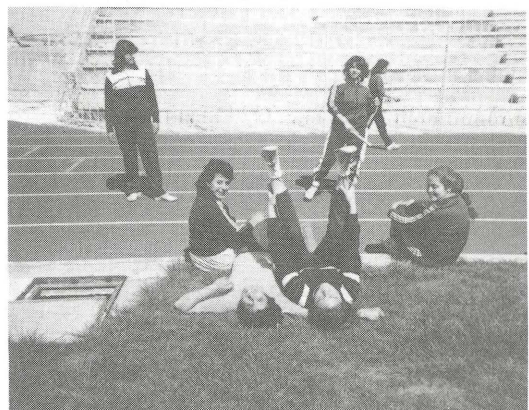
シリアには大きな総合大学が2校と、単科大学が3校程ある。ある日、学生たちが私に聞いた「先生、日本には大学がいくつある？」彼女たちの感覚では大学とはいくら大きな国でも両手で数えられると思っていたようである。私たちには考えられない世界がここにあり、彼女達が考えられない世界が日本にあるのである。

シリア・アラブ共和国

教育事情の一断面

図書
情報サービス課

船戸理恵



シリア国立アレppo女子体育大学グラウンドにて
学生の運動能力とは不釣り合いに、400mの
全天候型公式トラックがある。

シリーズ

レファレンス・ブックの紹介(2)

たしか誰かが書いた本だけど、その書名が分からないとか、あるいは以前に出版された本なのだが、今も売られているかどうか分からないということをよく耳にします。今回はこういうときに役立つ資料を紹介したいと思います。

本の情報の探し方

Q. 最近出版された本で就職に関するものがないでしょうか。できればその内容も分かればいいのですが…。

A. 「ブックページ1990(ブックページ刊行会)」
(請求番号 025/1/17-)

最近出版され就職に関するものという質問だけの場合は、他にも該当する図書を探すことはできますが、その内容も知りたい場合はこの資料が役立ちます。

このブックページは毎年発行されているのですが、1990年発行のものであればその前年に出版された新刊書についてその内容、要旨、目次などを紹介しています。使い方は事項索引が50音順に配列され、いわゆるキーワード索引となっています。

Q. 吉本ばなの作品は'89の年間ベストセラーに何冊はいったか。その書名は？

A. 「出版年鑑(出版年鑑編集部)」
(請求記号 025/1/8-)

「出版年鑑」は出版に関する1年間の動きがよく分かる資料です。例えば、前年度の全国ベストセラーズと戦後のベストセラーズのそれぞれ上位20位が掲載されています。それによると、吉本ばなの作品は「TUGUMI」(1位)、「キッチン」(2位)、「白夜夜船」(6位)、「哀しい予感」(8位)、「パイナップリン」(12位)の5冊が入っていることがわかります。

「出版年鑑」は1951年創刊で1月から12月までの間に発行された新刊書籍・雑誌の目録を中心に年間史、諸統計、関係名簿、法規などを収録したものです。書籍目録は書名からも引けま

すが、分類別に配列してあるので主題からも探すことができます。

Q. 第10回スバル文学賞の受賞作「十六才のマリンブルー」は現在書店で購入できますか？

A. 「日本書籍総目録(日本書籍出版協会)」により購入可能です。(請求記号 025/1/13-)

この日本書籍総目録というのは、販売書誌といわれているものです。これは、毎年5月現在で入手可能な図書が一目でわかります。この書誌は書名編・索引編からなり、書名編は書名のもとに五十音順に配列し、索引編は著者名索引・シリーズ索引からなり発行所一覧出版統計を付載しています。

Q. アガサ・クリスティの著作“Murder on the Orient Express (オリエント急行殺人事件)”は現在入手可能ですか。

A. このような場合は

「Books in Print (R. R. BOUKER, New York)」で調べることができます。(請求記号 025/53/2-)

このツールは米国の出版者から出版された市販図書の在庫情報を載せているものです。書名編、著者名編、それに姉妹編の件名索引から成っています。

それではご質問の図書を書名編で調べてみましょう。この本の図書情報が掲載してあり、入手可能なことがわかりました。また、著者名編で調べると入手可能なアガサ・クリスティの著作をすべて調べるができるのです。

新着図書紹介(一部)

(平成3年1月31日現在)

- ・死ねない時代 (大村英昭) 160.4.80
- ・悪魔の系譜 (Russell, J.B.) 191.5.1
- ・薔薇十字団 (McIntosh, Christopher) 230.5.14
- ・ゴルバチョフ大統領の行方 トーポリの現地証言
(エドワード・トーポリ) 302.38.50
- ・中国次の10年 日・米・ソを巻き込む“大国”の逆流
を読む (宮崎正弘) 312.22.125
- ・米国官僚組織の総て 米國政治のリアル・パワー
(真の権力)とは何か (畠山圭一) 317.953.13
- ・朝鮮が統一する日 盧泰愚大統領の挑戦
(河信基) 319.21.14
- ・デュルケム法社会学論集 (内藤莞爾) 321.3.10
- ・接見交通と刑事弁護 (若松芳也) 327.61.1
- ・ケインズの悲劇 (根井雅弘) 331.74Ke67.2
- ・「欧州合衆国」ができる日 東欧・E.C統合への展望
(早房長治) 333.7.18
- ・現代の多国籍企業
(ウラジミール・アンドレーフ) 335.5.28
- ・E.C統合後の投資銀行
(インゴ・ウォルター他) 338.15.32

- ・大都市の共同生活 マンション・団地の社会学
(倉沢進) 365.35.2
- ・ジェンダーの神話 「性差の科学」の偏見とトリック
(アン・ファウスト・スターリング) 367.9.10
- ・ユダヤ式家庭教育 上
(ミリアム・レヴィ) 379.9.206
- ・留学生日本フシギ体験 風呂、トイレから始まる
比較文化 (池口真寿美) 383.9.43
- ・統合軍参謀マニュアル (J.D.ニコラス) 393.2.4
- ・科学の罟 過失と不正の科学史
(アレグザンダー・コーン) 404.0.18
- ・日本列島の誕生 (平朝彦) 092.455.4
- ・講座 地球環境 (大来佐武郎) 519.0.13
- ①地球規模の環境問題
- ②地球環境と政治
- ③地球環境と市民
- ・マンガ 先物取引入門
(全国商品取引員協会連合会) 676.7.9
- ・ビートルズ レコーディングセッション
(マーク・ルウィソーン) 767.8.29
- ・夢 (黒沢明) 778.5.3
- ・ケリーさんのすれちがい100 日米ことば摩擦
(エリ・ケリー) 837.8.122
- ・「サロメ」の変容 翻訳・舞台 (井村君江) 902.2.1
- ・A Xの回想 (ジャン・グルニエ) 954.G48.1

報 告

《九州EC研究会》

第9回 1月26日 本学2号館

研究報告1 藤原直樹氏 (九州大学)

「西ドイツ産業における賃金支払方式の新動向」

研究報告2 朝見行弘氏 (福岡大学)

「ヨーロッパ市場統合と製造物責任」

《研修・出張》

◎私立大学連盟業務別研修セミナー 11.26~29

静岡県熱海市 有森司書

◎福岡県佐賀県大学図書館協議会

福岡地区研究会 12.13

筑紫女学園大学 瀧本、佐藤、山本司書補

《図書館委員会》

◎11.19

①平成3年度学部雑誌の継続購入について

②平成3年度個人研究費による雑誌の購入申請について

- ③閲覧(入退館)業務の簡素化について
- ④図書館の増改築計画(案)について
- ⑤増改築後の入退館システム(B.D.S.)の導入
計画と事前準備について
- ⑥平成3年度大学図書館予算申請(案)につ
いて
- ⑦オンライン文献情報検索サービスの一元化
とそれに伴う関連規則の改正(案)について
- ◎1.22
- ①図書館の増改築計画(案)について

編集後記

「学びて思わざれば則ち^く罔く、思いて学ばざれば則ち^{あや}殆し」(孔子「論語」)

これからの長い人生、それぞれの立場、身を置く環境の中で、学問と思索を続け、人間として尊敬される人物になってほしい。(J)